

コロナ後の核なき世界の展望を示す

被爆75年

原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を
一人類と地球の未来のために

●原水爆禁止2020年世界大会オンラインプログラム●

国際会議 8月2日(日)10:00—12:30

- 開会セッション 主催者報告、被爆者の訴え、ゲストスピーカー発言、メッセージ紹介
- 第1セッション 大会テーマの討論パネル①(世界の平和運動代表)
- 第2セッション 大会テーマの討論パネル②(アジア・太平洋)
- 閉会セッション 寄せられた質問に答えて 声明の発表、閉会の辞



児玉三智子
(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)



サロー節子
(広島被爆者)



高見三明
(カトリック長崎大司教)



ケイト・ハドソン
(核軍縮キャンペーン=CND 事務局長イギリス)



ジョゼフ・ガーソン
(平和軍縮共通安全保障キャンペーン アメリカ)



ライナー・ブラウン
(国際平和ビュロー=IPB 事務局長)



イ・ジュンキュ
(韓神大学統一平和政策研究院 前任研究員 韓国)

広島デー 8月6日(木)10:00—12:30

- 主催者報告、被爆者代表の報告、「平和の波」開始宣言、ゲストスピーカー発言、メッセージ紹介
- 世界大会—広島デーセッション1 核兵器のない世界への共同
- 世界大会—広島デーセッション2 日本と世界、草の根の運動の交流
- 文化プログラム/主催者の声明(広島からのよびかけ)



トーマス・ハイノッチ
(オーストリア欧州統合外務省 大使 / 軍縮軍備管理不拡散局長)



ベアトリス・フィン
(核兵器廃絶国際キャンペーン(フォトジャーナリスト)=ICAN 事務局長)



安田葉津紀
(フォトジャーナリスト)



中野晃一
(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)



松井一實
(広島市長)

長崎デー 8月9日(日)10:00—12:30

- 主催者報告、被爆者代表の報告、ゲストスピーカー発言
- 世界大会—長崎デーセッション1 核兵器のない世界への共同
- 世界大会—長崎デーセッション2 日本と世界、草の根の運動の交流
- 文化プログラム/「平和の波」終結宣言
- 主催者の声明(各国政府への手紙ないし世界へのメッセージ)



フリップ・ジェニングス
(国際平和ビュロー=IPB 共同会長)



カルロス・ウマーニャ
(核戦争防止国際医師会議=IPPNW 副議長)



吉原 毅
(原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長)



武本匡弘
(環境活動家)



田上富久
(長崎市長)

新型コロナウイルスのパンデミックは、自国優先主義や分断ではなく、核兵器のない、平和で平等、公正で人間優先の世界への転換を求めています。

世界大会は、被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界をめざし、核兵器廃絶の流れを代表する国際政治と市民社会の代表、環境、貧国克服、原発ゼロなどの運動の代表が参加し討論します。

以下のQRコードからYouTubeによるLIVE配信を視聴できます。



お問合せ先

原水爆禁止世界大会実行委員会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

Tel.03-5842-6035 Fax.03-5842-6033

E-mail antiatom55@hotmail.com

http://www.antiatom.org/